

獣医学共用試験実施に向けて の道筋と共用試験が目指すもの

高井 伸二
北里大学獣医学部

獣医学共用試験準備委員会委員長

獣医学教育改革シンポジウム

10月 8日	日本学術会議講堂	午後1時～4時
10月29日	北大獣医学研究科講堂	午後1時～4時
11月19日	鹿児島大学農学部	午後1時～4時

- ✓ 共用試験とは？
- ✓ 共用試験はなぜ必要か？
 - 医学の教育改革と共用試験
 - 薬学の教育改革と共用試験
- ✓ 獣医学教育改革における位置付け
 - 参加型臨床実習の前提条件
- ✓ 実施までの工程
- ✓ 目指すもの・・・何がどう変わる？

本日お話しする内容

共用試験の認知度 教養試験？



実は、
医学・歯学では平成17年度から
薬学では平成21年度から運用開始

共用試験とは？

・・・臨床実習開始前の学生評価！

1年生～4年生	5年生・6年生
臨床実習前教育期間 Pre-clerkship education period	臨床実習教育期間 Clerkship education period

↑
共用試験

↑
国家試験

臨床実習開始前の学生評価のための共用試験システム
 CBT (Computer-Based Testing) 基本的知識
 OSCE (Objective Structured Clinical Examination)
 基本的技能と基本的態度

共用試験の正式名称と実施時期

大学間で共通で利用する標準的な評価試験：

共に用いることから共用試験

共用試験実施の概要



医学共用試験の概要

CBT

1ブロック60分

6ブロック6時間

320問を解答

採点対象は240問

残り80問は新規問題の難易度解析

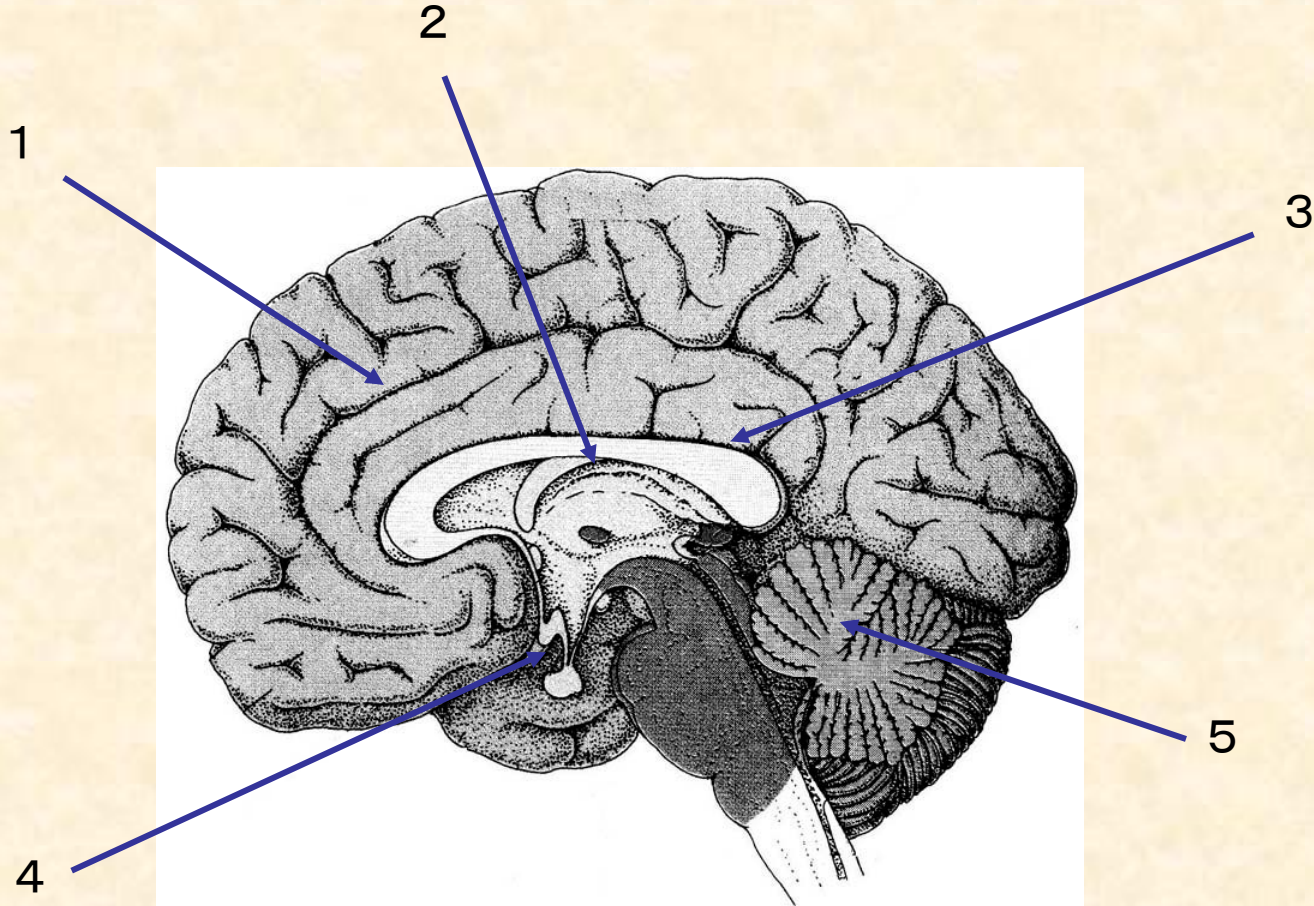
OSCE

6ステーション

1. 医療面接（10分）
2. 頭頸部診療（5分）
3. 胸部診察とバイタルサインの測定（5分）
4. 腹部診察（5分）
5. 神経診察（5分）
6. 外科手技と救急（5分）

共用試験では一ヶ月以上の特別な準備学習をしなくても正答率
70～80%となるような問題を出題する。

視床の位置は1～5のうちのどれか。



正解 2



CBT (Computer Based Testing)

医学系CBT(約8000人受験)

第一回から四回までの総得点の平均
71.2点～77.3点

単純5肢択一問題	77.5% (ブロック1-4)
多選択肢2連問	84.6% (ブロック5)
順次解答4連問	67.9% (ブロック6)

60点未満の学生は約3%

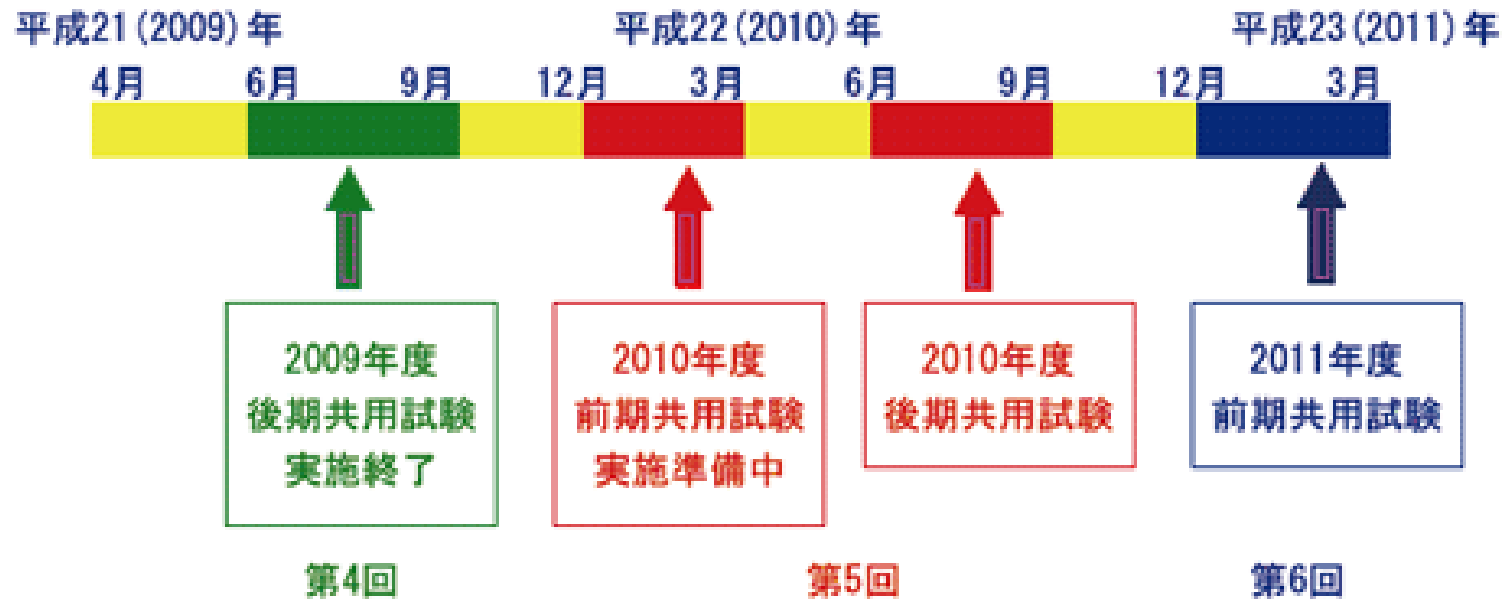
OSCE客観的臨床技能試験

医学系OSCE(約8000人受験)

総得点の平均点 86.4%前後で推移

60点未満の学生は0.2%





医学部における試験の弾力的運用

前期から臨床実習が始まる場合には、その前年度の12月～3月（前期共用試験）
後期から臨床実習が始まる場合には、当該年度の6月～9月（後期共用試験）

- ◎記憶主体の学習、見学型の臨床実習、基本的臨床能力の不足
- ◎科目担当教員まかせの教育内容と学生評価
- ◎医療倫理・安全管理・態度及び臨床技術教育の欠如
- ◎国家試験合格後、専門医育成が優先
- ◎大学における教育プログラムと内容についての基準が明確にされておらず、その評価も行われてこなかった現状



- ◎医療倫理・安全管理・基本的臨床能力の育成を充実
- ◎基本となる教育内容：モデル・コアカリキュラムで提示
教育内容の設定・臨床実習の改善
- ◎学習到達度の全国的な標準評価法（共用試験の導入）

これまでの教育ではだめなのですか？

医・歯学の教育改革は何故始まったのか？
わが国の医師・歯科医師養成の問題点

診療参加型臨床実習とは

(クリニカル クラークシップ)

1. 医学生は指導医の監督のもとに
2. 診療チームの一員として
3. 実際の患者診療に従事する。

そのため、一定の医行為が許容されるだけでなく、
医学生にも**患者診療への責任**が生じることとなる。

見学型から参加型臨床実習へ舵を切る

医学教育改革における教育理念の変化・・・

卒後の2年間の臨床研修必修化なども背景に・・・

医師・歯科医師の資格がない学生が臨床実習で患者さんに接する場合には、必要不可欠な知識・技能・態度が備わっていることを患者さんに示して診療に参加することに同意してもらうことが必要です。

また、学生の知識・技能・態度のレベルを全国的にも一定水準以上に保つことも必要です。

共用試験は、医学系・歯学系大学が実習に臨む学生に必要な最小限の知識・技能・態度の到達レベルを公平かつ厳正に評価し、その質を患者さんと社会に保証するために行われます。

共用試験はなぜ必要か？

違法性阻却の事由：臨床参加型実習の大前提

診療参加型臨床実習は、学生が診療チームに参加し、その一員として診療業務を分担しながら、医師としての職業的な知識・思考法・技能・態度の基本的な内容を学ぶことを目的としている。診療参加型臨床実習の実施・改善にあたっては、その主旨が、単なる知識・技能の習得や診療の経験にとどまらず、実際の患者を相手にした診療業務を通じて、医療現場に立った時に必要とされる診断及び治療等に関する思考力(臨床推論)・対応力等を養うことにある点に留意する必要がある。

診療参加型臨床実習の目的

勿論、医学教育の改善・充実のひとつであって、これが全てではない！

平成16年5月学校教育法、6月薬剤師法の一部改正

平成16年9月：薬学教育年限を6年に延長する国会決議の付帯事項により、中央教育審議会大学分科会から薬学共用試験の必要性が提言された。

平成18年度から6年制課程の薬学生入学

○6年制薬学教育では、薬剤師の実務能力修得の向上を目指し、実務実習の充実を図ることとし、学内における1ヶ月に亘る実務実習事前学習の後、病院および薬局における各11週の長期実務実習を必修科目とした。

○この長期実務実習(22週間)は従来の「見学型」実習とは大きく異なった「参加型」実習となった。

薬学の教育改革 4年制から6年制へ

参加型の長期実務実習のためには共用試験が必須

昭和62年 「医学教育の改善に関する調査研究協力者会議」(文科省)
平成3年 厚労省諮問機関「臨床実習検討委員会」で「臨床実習開始前の学生評価を適切に行うこと」提言:違法性の阻却要件
平成8年・11年「21世紀に向けた医師・歯科医師の育成体制のあり方について」共通の評価システムを作ることを検討すべきとの提言
平成13年 医学モデルコアカリキュラムの提示と共用試験システム創設の提言
平成14年 第一回トライアル
平成17年 正式実施
平成19年 モデルコアカリキュラムの改訂

平成5-8年「薬学教育の改善に関する調査研究者協力者会議」(文科省)	平成20-22年
平成13年 私学「モデルコアカリキュラム」・国立大「モデルコアカリキュラム」	
平成14-15年 日本薬学会「薬学教育モデル・コアカリキュラム」	平成23年3月
平成16年 薬学教育6年制への法改正・・・付帯事項として共用試験の実施	
平成17年 共用試験実施委員会	平成23年9月
平成18年 第一回トライアル	平成24年4月
平成22年 正式実施	平成28年

先行する医学と薬学の共用試験までの歩み

文科省の協力者会議発足から共用試験までの流れ

	大学数	受験者数	合格者数	合格率	人口	教員基準
医学部	80	8611	7686	89.3	27万人	140
歯学部	29	3378	2400	71.0	9.5万人	99
薬学部	74(61)	15189	11300	74.4	31万人	28
		3247	2455	44.4		
獣医学	16	1275	1051	82.5	3.6万人	28

医学・歯学(機構の会費規程あり)

入会金:25万円

大学年間会費:1514000円(別に歯学は特別管理費が592000円)

学生の受験料:28000円。追試は無料だが、再試験は28000円

薬学

大学負担金:50万円/年

学生の受験料:25000円。再試験料:12500円。CBT体験受験料:5000円。

蛇足 医学・薬学の運営基盤

医学・歯学は年間5億円、薬学は年間4.4億円の受験料と会費の収入

獣医学の場合は、受験料25000円徴収しても、2500万円

大学負担金100万円としても1600万円 年間4100万円

獣医学教育改革の提言

- 獣医師の職域や社会的役割・関連法規・獣医倫理を扱う導入教育の不整備
- 実践的な教育内容の不足 → 見学型から参加型実習へ
- 新たな分野への対応
- 大学間の教育内容のばらつき
→ モデル・コア・カリキュラムと教育の質保証

高度な実践力を備えた獣医師の養成

教育の原点: これまでの教育に何が足りなかったのか？

「今後の獣医学教育の改善・充実方策について」

獣医学教育の改善・充実に関する調査研究協力者会議-平成23年5月23日

- ①モデル・コアカリキュラムの策定等による教育内容・方法の改善促進
- ②自己点検・評価の実施や分野別第三者評価の導入など、獣医学教育の質を保証するため評価システムの構築
- ③共同学部・共同学科の設置など大学間連携の促進による教員の確保を含めた教育研究体制の充実
- ④実習室等の教育環境及び附属家畜病院の充実や、外部専門機関等との連携による臨床教育等の充実
- ⑤共用試験の導入に向けた検討(診療行為に参加する学生の事前評価について社会的信頼を得る仕組みを構築) など

なぜ、共用試験を導入するのか？

診療行為に参加する学生の事前評価

参加型実習の実施に当たり考えられる要件

1. **適法性の確保**（違法性の阻却事由の確認）

1) 目的の正当性

2) 行為の相当性

2. **リスク管理と結果責任の担保**

1) 全国統一の実施

2) 責任の所在及び安全の確保

違法性阻却のため共用試験が必要！

獣医師法 第17条 獣医師でなければ、飼育動物の診療を業務としてはならない

世の中には、「危険な行為であるが社会には必要とされる」ものがいくつもある。これを認めるために、法律は違法性阻却という考え方で対処している。医・歯・薬・看護・理学療法は自動車運転免許と似た方法論で対処している。

図1

公道で自動車という危険物を走らせることは「違法」である。
では、どうしたら運転できるようになるのか？

第1段階

学科教習（講義科目に相当） → 仮免許学科試験（CBTに相当）

技能教習（実習科目に相当） → 修了検定（OSCEに相当）



仮運転免許証を取得すると、公道で「一定の安全性が確保される範囲内」での運転が認められる。仮免許が〈違法性阻却の事由〉となる。

（仮免許は公安委員会が出している）

第2段階 路上教習（参加型実習に相当）

→ 卒業検定（各大学の卒業認定に相当）

→ 本免許学科試験（獣医師国家試験に相当）



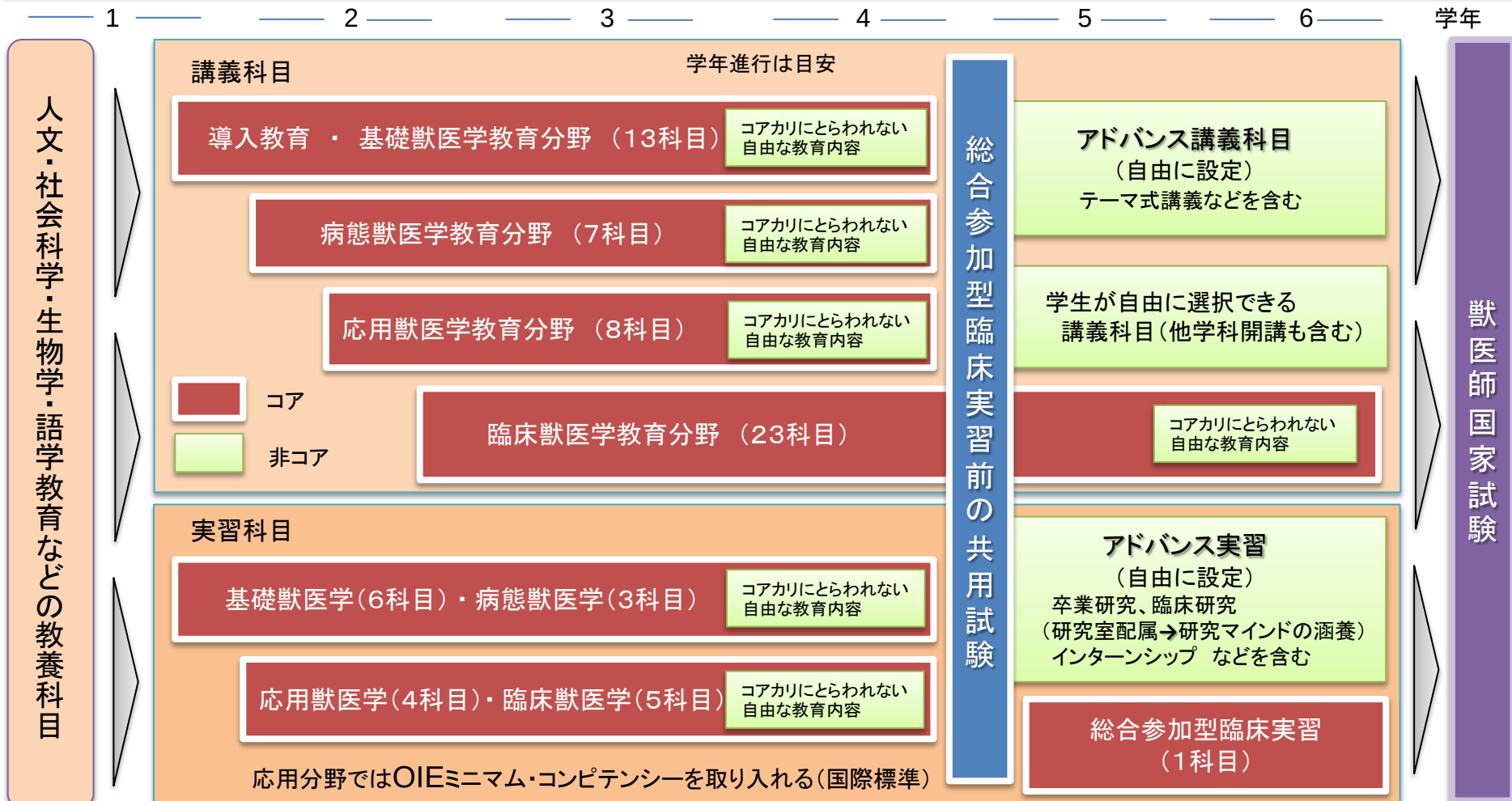
運転免許証を取得することが、最終的な〈違法性阻却の事由〉となる。
これでもはや、教官の同乗を必要とせずに運転できる。



運転免許証なしで人を死なせると、「殺人罪」で起訴される。
運転免許証があれば、「業務上過失致死罪」で起訴される。

獣医学モデル・コア・カリキュラム（平成23年3月策定）（概要）

- 獣医学生が卒業時まで身につけるべき必須の能力（知識・技能・態度）に関する具体的な到達目標を明示。
- 獣医学専門教育課程6年間で教えるべき2／3程度の内容とし、残りは各大学がそれぞれの理念に基づいて独自のカリキュラムを組む。
- 近年の獣医学の進歩や社会的ニーズを考慮して講義科目として51科目、実習科目として19科目を選択。ただし、科目名は例示であり、また単位数（時間数）も大学が独自に割り振る。
- 共用試験の出題基準、また大学の自己点検・自己評価あるいは横断的・分野別評価の基準として使用できる。



年度	教育体制の整備	共用試験準備委員会
2011		9月各種委員会の承認と立ち上げ 12月準備委員会総会
2012	共同学部・学科(1年生)	共用試験参加校の予備登録 試験問題作成の開始
2013	共同学部・学科(2年生)	実施機構の設立(参加校登録) 第1回トライアル
2014	共同学部・学科(3年生)	第2回トライアル OSCEトライアル
2015	共同学部・学科(4年生)	第3回トライアル OSCEトライアル
2016	共同学部・学科(5年生)	共用試験本格実施(6-9月の場合) 参加型臨床実習(後期から可能)

共用試験実施に至るまでの工程表

平成21年11月	共用試験準備委員会発足
平成22年 3月	共用試験に関する答申(全国協議会)
平成22年 9月	共用試験準備委員会から調査委員会へ
平成23年 6月	全国協議会で6つの部会が設置承認

コアカリキュラム

共用試験

共通教材(テキスト、e-ラーニング)

産業動物・感染症・公衆衛生共同実習

第三者評価

家畜病院

共用試験準備委員会→共用試験部会

これまでの経緯と全国協議会の部会としての位置付け

北海道大学	片倉 賢	帯広畜産大学	古林 与志安
岩手大学	中牟田 信明	東京大学	望月 学
東京農工大学	竹原 一明	岐阜大学	北川 均
岐阜大学	杉山 誠	鳥取大学	澁谷 泉
山口大学	佐藤 晃一	宮崎大学	片本 宏
鹿児島大学	宮本 篤	大阪府立大学	小川 和重
酪農学園大学	山下 和人	酪農学園大	遠藤 大二
北里大学	高井 伸二(委員長)	日本獣医生命科学大学	新井 敏郎
麻布大学	浅井 史敏	日本大学	鎌田 寛
東京大学	尾崎 博(コアカリ)		
北海道大学	橋本 善春(改革室)		
北里大学	吉川 泰弘(会長)		

共用試験準備委員会組織

全国16大学の委員で構成

◎共用試験準備委員会

○CBT問題作成委員会：浅井先生（麻布大）、杉山先生（岐阜大）

○CBT問題依頼委員会：16大学委員が各大学を担当

○CBT問題内容検討委員会：コアカリ委員会（3名/科目）100名以上

○CBT実施委員会

○OSCE準備委員会：新井先生（日獣大）北川先生（岐阜大）

○トライアル実施委員会：鎌田先生（日大）

○広報委員会（システム開発）：遠藤先生・山下先生（酪農大）

今後の実施準備体制

各種小委員会の立ち上げ

◎CBT問題作成

- モデル・コアカリキュラムの到達目標毎の問題作成
- 4年までの基礎・応用獣医学系科目から主に
- 臨床系は総論と基本態度・技能はOSCEで
- 16大学全教員に依頼し、最終的には一万題を目標にプール

◎OSCE

- 各大学における実習前試験

問題の作成：共用試験は教育の意識改革でもある！

16大学全教員に問題作成をお願いします

共用試験の意義

- ① 臨床実習の目的と行為の正当性の確保
【社会・飼い主に対して、説明責任を果たす】
- ② 事前学習と学生の資質の検証
【指導獣医師(学外委託実習)に対しての、
説明責任を果たす】
- ③ 教員の教育改善への意識が高まる(FD)
- ④ 学生の勉学への意識も高まる
- ⑤ 社会に獣医師(資格)の重要性をアピールする
絶好の機会となる

(本来の目的である教育環境を整備するという③、④が大事！)

臨地実習生の質の確保のための看護系大学共用試験(CBT) の開発的研究

研究期間 2008年度～2010年度

研究分野 基礎看護学

審査区分 一般研究種目 基盤研究(A) 配分額総額:43030千円

臨地実習適正化のための看護系大学共用試験CBTの実用化 と教育カリキュラムへの導入

研究期間 2011年度

研究分野 基礎看護学

審査区分 一般研究種目 基盤研究(A) 配分額総額:23010千円

看護学教育における共用試験への準備

科研費 基盤研究(A)が採択されて活動！

看護系大学数(協議会会員校)

平成元年(1989年) 11 校

平成12年(2000年) 84 校

平成19年(2007年) 157 校

平成23年(2011年) 200 校

大学で教育される看護師の人数(1 学年定員)

平成元年(1989 年) 539 人

平成19年(2007 年) 12,223 人

看護師の全教育課程1 学年の定員数約5 万人

看護職中1%だった大学卒業生は2 割以上となる

蛇足 看護系大学のビッグバン

、2005 年より高度実践看護師制度検討委員会を発足し、高度実践看護師育成のための38単位の教育課程の提案 10年間で移行

参加型臨床実習生の質の確保のための獣医学 共用試験の開発的研究(仮題)

研究代表者	吉川 泰弘
研究期間	2012年度～2014年度(3年間の予定)
研究分野	応用獣医学
審査区分	一般研究種目 基盤研究(A)
申請総額	5千万円以内で(詳細検討中)

獣医学教育における共用試験への準備

科研費 基盤研究(A)を申請します！



ご静聴有難う御座いました

◎学生の質が他の集団に比べて高止まり(偏差値69-60)

○学生がたいへん優秀

△最近、緩やかな沈下傾向にあると感じてはいるが...

○6年制獣医学教育が始まって26年が経過し、コアカリで教える科目と内容は増えたけれど...

△教育内容の多様性に対応すべき教員数は圧倒的に少ない

◎獣医学科教員はこれまで粉骨砕身頑張ってきたということ

これまで上手くやってこられてきた理由